

えひめの子どもたちへのメッセージ
～人とよりよい関係を築くためにできること～

〔「えひめ愛顔の子ども新聞」掲載記事〕

令和7年11月20日（木）、四国中央市土居文化会館をセンター会場に、今年度も県内一斉ライブ授業「えひめいじめ STOP! デイ plus」が開催されました。これまでの取組を受けて、今年度は「私にできること」をテーマとし、県内の小学6年生と中学1年生、約22,000人がいじめをなくすため、具体的にどう行動するべきか考える機会となりました。

ライブ授業では、いじめが起こる原因、いじめがなくなる理由、居心地のよい環境づくり、更には、誰かの味方になり、味方を増やし、見方を振り返るための「ジブンミカタプログラム」を通した人とのよりよい関係づくりについて、活発な話し合いが行われました。盛りだくさんの内容でしたが、いじめをなくすことへ気持ちが高まり、自分に見つかったとの声が多く寄せられたことや、いじめ問題に対して真正面から向き合い、他人事ではなく自分のこととして真剣に議論している皆さんの姿を拝見し、たいへん心強く思いました。

また、「自分に見つかった」として、「いじめを絶対に見逃さない」「言葉を選んで話す」「つらい思いをしている友達にそっと寄り添う」という意見が発表されたことは、私たち大人も深く考えさせられました。

大切なことは、このライブ授業で交わした考えや思いを、実際の行動に移すことです。いじめ問題は、たった90分で解決するような簡単な問題ではありません。この日誓った熱い思いを、忘れることなく、自ら考え、行動し、みんなが安心して生活できる楽しい学校・地域づくりに励んでほしいと強く願います。

加えて、すべての子どもたちが良好な関係を築きながら、伸びやかに生活していくためには、地域社会全体で人権を尊重する雰囲気が必要であることは言うまでもありません。子どもたちは、私たち大人が思っ

いる以上に悩み、考え、毎日を生きています。私たち大人も、いじめ問題をはじめとする子どもたちを取り巻く様々な問題に積極的に関わりながら、子どもたちの成長を支えていきましょう。

最後に、本事業の開催に当たり、御理解と御協力をいただいたすべての皆様に、心から感謝申し上げます。